

静岡県

土地改良



写真：船明ダム（浜松市天竜区船明）

○水土里ネット静岡 通常総会及び 土地改良功労者表彰式の開催	1
○全国水土里ネット表彰式	3
○小水力等発電導入技術力向上地方研修会の開催	4
○関東農地集団化推進協議会表彰式	4
○行事予定（5月～7月）	4
○平成 29 年度 本会新規採用職員の紹介	5
○第2回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト審査結果	6
○静岡県の歴史的な土地改良施設の紹介	7
○ふじのくに美しく品格のある邑	8
○平成 29 年度 水土里ネット静岡 組織図	9



豊かな農村空間を創造する

みどり
水土里 ネット 静岡
静岡県土地改良事業団体連合会

水土里ネット静岡 通常総会及び土地改良功労者表彰式の開催

平成 29 年 3 月 22 日(水)、「ホテルセンチュリー静岡」(静岡市)において、第 60 回通常総会並びに土地改良功労者表彰式を開催しました。

開会にあたり、伊東会長が会員皆様への謝辞を述べるとともに、10 月 25 日に本県で開催する第 40 回全国土地改良大会を会員皆様のプラスの財産として頂きたいと挨拶しました。

続いて行われた土地改良功労者表彰式では、個人 25 名の表彰を行いました。

通常総会では、静岡県副知事の難波喬司氏(交通基盤部理事 絹村敏美氏代読)、静岡県議会議長の鈴木洋佑氏、農林水産省関東農政局長の石田寿氏(農林水産省関東農政局農村振興部長 島田眞司氏代読)よりご祝辞をいただいた後、中郷用水土地改良区理事長の白井幸太郎氏の議長のもと、「平成 28 年度事業報告及び収支予算補正について」をはじめ「平成 29 年度事業計画及び収支予算について」など全 6 議案が提出され、全て原案通り可決されました。



水土里ネット静岡 平成 29 年度 役員紹介

役 職	氏 名	所 属
会 長	伊東 真英	中川土地改良区 理事長
副 会 長	池田 藤平	寺谷用水土地改良区 理事長
副 会 長	大石 好昭	金谷土地改良区 理事長
専務理事	小松 淳	学識経験者
理 事	太田 長八	東伊豆町長
理 事	杉山 豊	高根西部塚原土地改良区 理事長
理 事	渡邊 利明	富士東部土地改良区 理事長
理 事	小川 通博	清水農業協同組合 代表理事専務
理 事	八木 健次	大井川土地改良区 理事長
理 事	伊藤 壽一	牧之原畑地総合整備土地改良区 理事長
理 事	太田 順一	大井川右岸土地改良区 理事長
理 事	渡辺 芳文	静岡県農業協同組合中央会 専務理事
理 事	永田 勝美	一般社団法人静岡県農業会議 会員
総括監事	今田 欽也	伊佐見土地改良区 理事長
監 事	込山 正秀	小山町長
監 事	西原 茂樹	牧之原市長

任期：平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

水土里ネット静岡 平成28年度土地改良功労者

【役員の一部】 24名

渡邊 利明	富士東部土地改良区 理事長
杉山 孝文	吉原農地保全土地改良区 理事長
伊東 隆典	吉原農地保全土地改良区 副理事長
増田 弘	吉原農地保全土地改良区 理事
望月 包雄	吉原農地保全土地改良区 理事
勝亦 光明	吉原農地保全土地改良区 理事
勝又 志延	富士南麓土地改良区 理事
杉山 國和	尾羽土地改良区 理事長
内田 幸男	大井川土地改良区 理事
池谷 敏弘	大井川土地改良区 理事
小林 松二郎	大井川土地改良区 監事
戸塚 敦彦	牧之原畑地総合整備土地改良区 理事
本杉 光雄	牧之原畑地総合整備土地改良区 理事
山本 衛	牧之原畑地総合整備土地改良区 理事
杉澤 忠義	金谷土地改良区 理事
永井 善計	金谷土地改良区 総括監事
池ヶ谷 俊幸	神座土地改良区 副理事長
池ヶ谷 實	神座土地改良区 監事
河住 光重	大井川右岸土地改良区 理事
内藤 澄夫	大井川右岸土地改良区 理事
若尾 幸治郎	中ノ町第三土地改良区 理事
藤田 芳信	浜松市庄和村櫛土地改良区 理事
田中 幹雄	浜松市庄和村櫛土地改良区 理事
鈴木 長八	浜松市庄和村櫛土地改良区 監事

【職員の一部】 1名

千頭和 あけみ	富士東部土地改良区 事務職員
---------	----------------



受賞者代表の渡邊利明氏(富士東部土地改良区 理事長)

全国水土里ネット表彰式

平成 29 年 3 月 24 日(金)、シェーンバッハ・サポール(東京都)において全国水土里ネット表彰式が行われました。

第 58 回全国土地改良功労者等表彰では、全国から 121 団体(農林水産大臣表彰 5 団体、農村振興局長表彰 2 団体、金章 38 団体、銀章 49 団体、銅章 27 団体)、と個人 116 名が表彰されました。この表彰は、土地改良事業の推進に多大な貢献をした土地改良関係者に贈られるもので、本県からは、団体の部で 3 団体、個人の部で 2 名が受賞の栄に浴されました。

そして、農業農村整備事業を契機として、生産性や収益性の高い農業の展開を積極的に推進している地区、農村の振興を図り、活力と個性のある地域づくりを進めている地区及び団体に贈られる農業農村整備優良地区コンクール表彰に 20 地区(農業生産基盤整備部門；農林水産大臣賞 2 地区・農村振興局長賞 4 地区・全国水土里ネット会長賞 7 地区、農業振興整備部門；農林水産大臣賞 2 地区・農村振興局長賞 2 地区・全国水土里ネット会長賞 3 地区)が表彰され、本県からは、1 地区が受賞の栄に浴されました。

また、全国で模範となるような 21 世紀土地改良区創造運動を展開している水土里ネットに贈られる 21 世紀土地改良区創造運動表彰に 8 団体(大賞 2 団体、地域資源管理部門賞 1 団体、地域コミュニティ部門賞 2 団体、さなえ賞 3 団体)が表彰されましたが、本県からは該当する地区・団体はありませんでした。



金章：吉原土地改良区



銀章：吉原農地保全土地改良区



銅章：矢部土地改良区



個人表彰：加瀬沢土地改良区
〔 山本 雅敏 理事長 〕



個人表彰：大井川土地改良区
発電所管理事務所
〔 大石 康弘 所長 〕



農業農村整備優良地区コンクール表彰
新丹谷土地改良区

【団体表彰】

金 章：吉原土地改良区
銀 章：吉原農地保全土地改良区
銅 章：矢部土地改良区

【個人表彰】

加瀬沢土地改良区 理事長 山本 雅敏 氏
大井川土地改良区発電所管理事務所 所長 大石 康弘 氏

【農業農村整備優良地区コンクール表彰】

農村振興局長賞：新丹谷土地改良区

(平成 29 年 3 月 24 日現在)

小水力等発電導入技術力向上地方研修会の開催

平成 29 年 2 月 22 日(水)、三重県多気郡多気町の立梅用水土地改良区において、小水力発電による地域活性化及び 6 次産業化への活用を目的とした地方研修会(先進地視察)が開催されました。

立梅用水は江戸時代後期の文政 6 年(1823 年)に完成した後、大正 9 年(1920 年)より発電事業を現在の中部電力と締結し、その経費をもって灌漑施設の修繕・改修を行ってきました。平成 24 年(2012 年)からは立梅用水型小水力発電事業として、落差 50 cm の小水路に設置した地産地消型小水力発電(通称：彦電)を用いて地域活性化や 6 次産業化へ活用しています。

また、多面的機能活動も活発であり旧勢和村では、地域資源の保全活動以外に農村コミュニティ強化のため、小学校での伝統的学習や中学生によるアジサイまつりでのボランティア活動によって、地域を知り・地域に根付くための活動を実施していました。



地産地消型小水力発電「彦電」

関東農地集団化推進協議会表彰式

平成 29 年 3 月 28 日(火)、都道府県会館(東京都)において、第 64 回関東農地集団化推進協議会通常総会及び平成 28 年度関東農地集団化会長表彰者に対する表彰式が開催されました。

この表彰は、換地及び交換分合事業の推進に貢献した団体の役員及び職員に贈られるもので、今回は 6 名の方々が受賞され、本県では清水農業協同組合 開発部開発課 課長補佐(現：農地基盤整備部 農地整備課長)の山下武治氏が受賞いたしました。



中：受賞した山下 武治 氏

行事予定 (5月～7月)

開催日	行事予定	開催場所
6月13日(火)	平成29年度 第1回 監事会	本会会議室
6月19日(月)	平成29年度 第1回 理事会	静岡市産学交流センター (静岡市)
6月26日(月)	農業農村整備の集い	シェーンバッハ・サボー (東京都)
7月25日(火)	平成29年度 臨時総会	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」 (静岡市)

平成29年度 本会新規採用職員の紹介

しばた りょうたろう
【柴田 瞭太郎】 静岡県立静岡農業高等学校 卒業

4月から施設管理課に配属が決まりました、新規採用の柴田瞭太郎と申します。

高校を卒業し学生から社会人になり、環境が大きく変わりました。3月の間はこれから社会人になるという実感はあまりありませんでした。ですが、辞令を渡されて初めて自分の中にもう社会人になったという気持ちになりました。

これまで農業高校で、農業と農業土木の勉強をしてきました。農業高校に入るまで、農業という分野は誰でもできるようなものと考えていました。農業は土壌作りから始まり、種や苗を植え、毎日水やりや虫などの捕殺、観察をしていき長い期間手間暇かけることでやっと実ります。労力と時間をかけても天候に左右されたり、鳥や小動物に食べられたりしてしまうことがあります。農業の勉強をしてきて、大変さや命の大切さをとても深く知ることができました。

これからは連合会や会員の皆様のために自分が今まで学んだことを活かし貢献できるようにわからないことはしっかりと聞き、早く仕事を覚えられるように努力していきます。

まだまだ分からないことばかりでご迷惑をたくさんかけてしまうと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



もちづき けんせい
【望月 健生】 静岡県立静岡農業高等学校 卒業

今年4月から中部事業所に配属されました、新規採用の望月健生と申します。

3月に高校を卒業して、本当に自分が社会人になるのかと実感がなかなか湧かず、とても大きな不安がありました。

しかし、4月3日の辞令交付式で自分の名前、配属場所が言い渡されたときに、自然と社会人になるという実感が湧いてきて大きな不安がこれからへの大きな期待に変わっていました。辞令交付式を終え、先輩方から仕事の内容をお聞きしたり挨拶を交わしていく中で、職場の雰囲気、社会というものを肌を感じ刺激的な日々を過ごしています。

私は、農業高校で農業土木などについて学習してきました。農業土木は普通の土木業とは異なり、水利施設など農業ととても密接しているものだと気付きました。中部事業所では、水利施設の定期点検や、農道台帳の点検・確認作業といった業務があると聞いております。様々な業務に携わり、より自分の知識を深めていくとともに、農業をしやすい環境を創り上げていきたいです。

これから、連合会や会員の皆様のお役に立てるように日々精進していきます。慣れない仕事でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、学んできた知識を活かし、人との繋がりを大切にして一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



第2回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト審査結果

平成29年1月27日(金)に、静岡県主催で開催された「第2回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト」の審査会が開催されました。このコンテストは、静岡県の美しい農村景観や日々の暮らしの風景など、農村の魅力を伝える写真を通じて農業・農村の果たす役割や大切さを広く県民に理解してもらうとともに、優良な写真素材を収集し、農業・農村関連事業の広報に活用することを目的として開催されました。

募集テーマは、「農村の美を感じる瞬間」とし、応募総数806点の作品の中から入賞作品48点を選出されました。

これらの入賞作品は、2月23日(木)～3月3日(金)に県庁別館21階ロビーにて展示されました。



— 特選（静岡県知事賞） 「大地の輝き」 —



— 準特選 「大物ゲット」 —



— 準特選 「れんこん掘り」 —



— 準特選 「田植え神事」 —



— 準特選 「ダイコン風景」 —

静岡県の歴史的な土地改良施設の紹介



磐田用水

(磐田市、袋井市、森町)



磐田用水の歴史

縄文時代、磐南平野(現在の磐田市・袋井市南部)の大部分は海の底でした。その後、徐々に海面が下がり陸地は広がっていきましたが、昔水域であった所は現在も海拔0~1mと平坦な土地のままです。このような地形のため、昭和時代までずっと大雨・洪水や田んぼの悪水に悩まされていました。一方、太田川や原野谷川など地域の河川の水量が少なく、村々は競うように水路を引き、多くの水争いの記録が残っています。

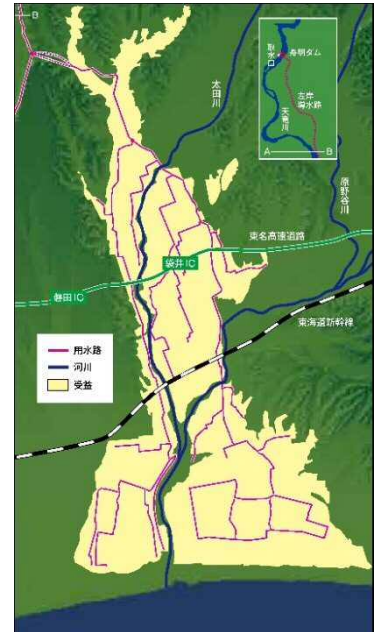
このように磐南平野は、極端な低平地と水量の少ない河川により治水と利水の両方で長年に渡り苦労してきた地域でした。

天保2年(1831年)、幕府の役人である犬塚祐一郎は磐南平野の河川では水の絶対量が少ないことを確信します。そして平野最北部にある社山に隧道(トンネル)を掘り天竜川の水を引くという“社山疏水計画”を立てました。しかし、当時としては破天荒な考え方であり、地元の人々を説得して回りましたが時期が早すぎたのか実現は見送られてしまいました。

計画から約50年後、寺谷用水との共同事業によりようやくその計画は現実性を帯び動き始めましたが、内務省の設計ミスにより工事は中止となってしまいます。

さらに約40年が経過した昭和4年(1929年)、磐田用水水利組合主事・江塚勝馬らの働きにより計画は再出発をしますが日本は太平洋戦争に突入。資材・資金・労働力すべてが不足し工事は停滞します。しかし、このとき金原治水財団による地元負担金の全額寄付、竹山祐太郎(後の静岡県知事)の計らいによる農業増産報国隊が10日間で8kmの水路を掘りぬくという大突貫工事を実現させる等、多くの方々の助けを借りて昭和19年(1944年)7月、遂に磐田用水は完成し、天竜川から通水されました。

その後、昭和59年(1984年)に発電や工業水、上水道など天竜川の総合開発事業により船明ダムからの直接導水が可能になる国営農業水利事業が完了し、天竜川の水は現在もなお県下一の穀倉地帯である磐南平野の田畑に配水されています。



現在の磐田用水

耕地整理の祖・名倉太郎馬

長年貧困に悩む彦島村(現：袋井市彦島)の名倉太郎馬は明治5年(1872年)、自分の水田の屈折した道路や畦畔を改良し直線状の水田区画にしました。この効果は絶大で、それを見た村人は驚き、翌6年(1873年)から彦島村全域44町歩の耕地整理が始まりました。これが日本で最初の耕地整理です。

太郎馬の手法は明治20年(1889年)、富岡村(現：磐田市)の鈴木浦八によって改良され、静岡式耕地整理として全国に広がっていきました。

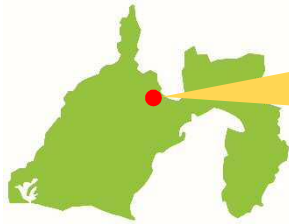


名倉太郎馬

[参考文献：新磐田用水誌] [写真提供：磐田用水東部土地改良区]
 [出典：磐田用水東部土地改良区ホームページ (URL: <http://www.iwatou.com/>)]



ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"



うとうぎ
有東木
— 静岡市 —

平成 24 年度
知事顕彰 受賞

< 邑の概要 >

本地区は山葵栽培発祥の地で、山葵田と茶畑の緑に囲まれた標高 500m 程の集落。新緑から紅葉、雪景色と四季折々の特徴ある風景が味わえる自然豊かなところで、地域の女性が中心となり「うつろぎ運営委員会」を設立し、各種加工品の開発から販売、食事提供やそば打ち体験等積極的に取り組んでいます。



山葵栽培発祥の地
H29. 3 月に日本農業遺産
認定地区の一つとなりました

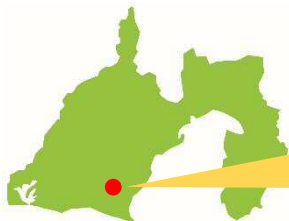


< 地域の伝統行事 >

- ・有東木の盆踊り（国指定重要無形民族文化財）8 月
- ・有東木の神楽（市指定無形民族文化財）4 月、10 月

< 特色 >

- ・うつろぎでつくる山葵や茶などの加工品



千枚(せんがまち)の^{たなだ}棚田
— 菊川市 —

平成 24 年度
知事顕彰 受賞

< 邑の概要 >

「せんがまち」とは、「千枚の田んぼ」という意味。「先人たちの築いたこの美しい風景を残したい」という思いから、「NPO 法人せんがまち棚田倶楽部」が活動の核となり、幅広い組織の協力を得た棚田の保全活動を行うとともに、農業体験を通じた社会、環境教育の場として棚田を活用しています。



あぜ道アート
(NPO 法人せんがまち
棚田倶楽部 HP より)

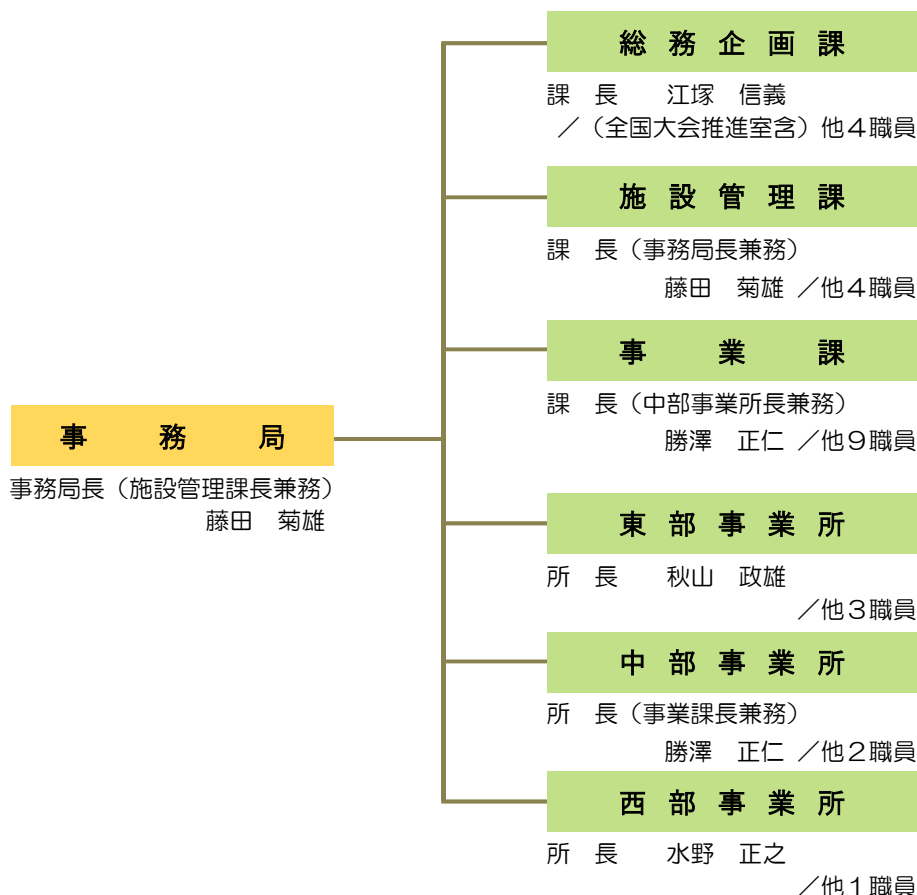


< 近日開催されるイベント >

- ・^{しろか}代掻き
(平成 29 年 5 月 20 日 (土))

(NPO 法人せんがまち棚田倶楽部のホームページ : <http://www.tanada1504.net/>)

平成29年度 水土里ネット静岡 組織図



水土里ネット静岡（静岡県土地改良事業団体連合会）

ホームページ <http://www.sizdoren.jp>

本部（事務局、総務企画課、施設管理課、事業課）

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL (054) 255-5151 FAX (054) 221-3581

E-mail 総務企画課 総務担当 soumu@sizdoren.jp
企画担当 kikaku@sizdoren.jp
施設管理課 水土里担当 kanri-c@sizdoren.jp
事業課 事業担当 jigyo@sizdoren.jp
換地担当 kanchi@sizdoren.jp

東部事業所

〒410-0055 沼津市高島本町1-3
TEL (055) 920-2269 FAX (055) 920-2192 E-mail toubu@sizdoren.jp

中部事業所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20
TEL (054) 286-9273 FAX (054) 286-9274 E-mail shisetsu@sizdoren.jp

西部事業所

〒438-0086 磐田市見付3599-4
TEL (0538) 37-2316 FAX (0538) 37-2403 E-mail seibu@sizdoren.jp